

開催支援・サポートについて

財政支援

(1) 国際コンベンション開催助成金制度 ※ 審査会にて可否及び金額が決定されます。

■ 対象

福岡市で開催される国際コンベンションで、一日当たりの外国人(在日外国人を除く)参加者数が、50名以上。参加国が日本を含む3ヶ国以上で、会期が2日以上であるもの。

開催地が未決定のコンベンションで、助成を行うことで福岡市開催が促進されるもの。

■ 助成額

総経費の30%以内で、30万円から1,000万円の規準額。

(2) 国内コンベンション助成金制度 ※ 審査会にて可否及び金額が決定されます。

■ 対象

福岡市で開催される国内コンベンションで、九州規模以上の開催。一日当たり1,000名以上の参加で、会期が2日以上であるもの。開催地が未決定のコンベンションで、学術・技術・文化・芸術・スポーツ・産業または経済の振興に広く寄与するもの。

(展示会、見本市・民間企業1社が開催する社内会議や製品説明会等を除く)

■ 助成額

総経費の30%以内で、30万円から300万円の規準額。

インセンティブツアー支援メニュー

福岡市内に1泊以上滞在するインセンティブツアーを対象に、さまざまな支援メニューをご提供しています。

1 ガイドブックのご提供

インセンティブツアー参加者に対する割引・優待のクーポンを掲載した「福岡観光ガイドブック」をグループの皆さまへご提供します。(英語、韓国語、中国語(簡)、中国語(繁)、日本語に対応)



10名様以上

※写真は、イメージです。

2 挨拶状と絵葉書セットのご提供

ウェルカムレターと福岡観光絵葉書のセットを、グループの皆さまへプレゼントします。



10名様以上

3 空港・港での歓迎式典開催

歓迎の横断幕を用意して、法被姿で、皆さまをお出迎えます。また、歓迎挨拶を行うとともに、インセンティブツアー代表者へ福岡ゆかりの記念品を贈呈します。



100名様以上

4 郷土芸能の提供

ホテルでの歓迎式典や表彰式の際、独楽(こま)回し、太鼓、民謡などの郷土芸能のいずれかひとつを1回無料提供いたします。



200名様以上

〈伝統芸能の一例〉



公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー
Meeting Place Fukuoka

〒810-0041 福岡市中央区大名2-5-31 福岡市交通局庁舎4F

TEL 092-733-0101 FAX 092-733-3100

e-mail mpf@welcome-fukuoka.or.jp

http://www.welcome-fukuoka.or.jp/



Meeting
Place
Fukuoka

公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー MPFのワンストップサービスのご案内

コンベンション/会議・セミナー/展示商談会/インセンティブツアーなど、イベントの目的に応じて、サポート企業のご紹介を含めてきめ細やかな支援を行っています。

Step-1

開催地選択段階

① 広報PR資料の提供と貸出し

候補地決定時に必要な広報・PR資料等をご提供。

② 視察受け入れ

会議・宿泊施設等の視察受け入れサポート。

③ 見積書・提案書のとりまとめ

ご要望に応じて、必要な見積書・提案書の取りまとめを行います。

④ コンベンション開催助成金制度*

開催都市検討中のコンベンションに対して、国内外延べ参加者数などに応じた助成金制度を設けております。

*詳細は各担当者におたずねください。

⑤ 福岡市MICEアンバサダー事業の活用

- 国際・国内会議や大会、展示会の誘致に係る活動
- PR活動協力/情報提供
- 主催者キーマン・コンタクトパーソン紹介

*詳細は裏面をご覧ください。

Step-2

開催決定後の準備段階

① 各種パンフレットのご提供など

- a.福岡観光ガイドブック(言語:日/英/韓/中(繁)/中(簡))
- b.福岡グルメ・おみやげガイドブック(日本語のみ)
- c.中洲飲食マップ(日本語のみ)

② ユニークベニューのご紹介

飲食施設はもちろん、商店街等のストリートパーティーまで、福岡ならではの素敵なレセプション会場をご紹介します。

③ 観光案内および語学ボランティアのご紹介

主催者様からのご依頼に応じ、観光案内ボランティアや語学ボランティア(英・中・韓等)をご紹介します。

④ 広報活動協力

広報に必要な資料やDVDの提供、ならびに関係機関への告知・HPへの掲載等を行います。

⑤ 外国人参加者への支援

日本文化体験プログラムを希望する主催者に対し、茶道・華道体験等の受け入れ団体をご紹介します。

⑥ 後援と歓迎メッセージ

一定条件のもと、福岡市及び当財団が後援するとともに、ウェルカムメッセージなどをご用意します。

⑦ 多方面へのサービス提供

PCO会社・旅行会社・ホテル・レストラン・送迎バス・弁当等のご紹介、ならびにコングレスバッグお土産のご案内等

⑧ 観光プログラムご提案

サイトビジット支援(地場企業・研究施設・工場等の産業観光)や同伴者ツアー・博多まち歩き等の観光プログラムのご紹介

Step-3

コンベンション開催時

① 歓迎看板または郷土芸能のご提供

一定の条件のもと(参加国数・人数規模等)で、福岡市で開催される大規模コンベンションに対し、歓迎看板の提供・設置、もしくは郷土芸能(1種)を無料提供します。

[案内看板設置例]

- 福岡空港における歓迎案内所の設置
- 福岡空港の歓迎バナー
- 博多駅新幹線口歓迎バナー

[郷土芸能提供例]

博多独楽(こま)、金獅子太鼓、博多民謡など

② 郷土芸能のご紹介

開会式、レセプション等でご利用される郷土芸能を、ビューロー特別価格にてご紹介します。

③ 博多どんたく法被の貸出し

博多の代表的なお祭りの一つである「博多どんたく」で使用される法被を前年度大会のPRや開催当日の受付などに貸出します。

※インセンティブツアー支援メニューについては裏面をご参照ください。

MICE Support Menu

福岡市MICE アンバサダーのご紹介

福岡市 MICE アンバサダー導入の目的

福岡の学術文化・産業・経済振興を促進するMICEを積極的に誘致する目的で、福岡市が掲げる6つの誘致重点分野(次世代産業/クリエイティブ/スポーツ/食/医療・医学/アジア)において、国際会議や大会、展示会の福岡誘致に影響を持つキーパーソン14名がこのたび「福岡市MICEアンバサダー」として福岡市長より任命されました。アンバサダーの方々を通じて、福岡開催の可能性のあるMICEの誘致活動を積極的に支援すると共に、産学官民一体で福岡市のMICE誘致促進に対する機運を高めてまいります。

(50音順 敬称略)



甲斐 諭
かい さとし

中村学園大学・中村学園大学短期大学部
学長

日本農業経済学会長、九州農業経済学会長、日本流通学会副会長などを歴任し、現在は厚生労働省農事食品審議会臨時委員、九州農業成長産業化連絡協議会副会長などを務めている。専門分野は、食料の生産と流通の国際比較研究ですが畜産経営にも詳しく、これまでもホストや運営事務局となって、多数の学会を開催してきた。現在は「食の中村」と言われる食の業界に強く、新たな食分野のスペシャリストを育成している中村学園大学の学長であり、九州を代表する食品流通の権威として活躍している。



各務 茂夫
かみ しげお

東京大学 教授
産学協創推進本部 イノベーション推進部長

一橋大学商学部卒、スイスIMEDE(現IMD)経営学修士(MBA)、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ポストンコンサルティンググループを経て、コーポレートディレクション(CDI)の設立に創業パートナーとして参画、取締役主幹、米国CDI上級副社長兼事務所長を歴任。世界最大のエグゼクティブサーチ会社の一つ、ハイドリック&ストラグル社パートナー(ボード・プラクティス)を経て、2002年東京大学大学院薬学系研究科教員となり、2004年東京大学産学連携本部教授・事業化推進部長に就任。2004年～2013年まで(株)東京大学エッジキャピタル監査役。2013年4月から現職。大学発ベンチャー支援、学生起業家教育、企業との大型共同研究創出に取り組む。2015年日本ベンチャー学会第1回松田修一賞受賞。日本ベンチャー学会副会長・理事(2016年1月～)



張 樹榮
アルフレッド チャン

香港日本文化協会
理事

香港日本文化協会および日本香港協会の理事、香港城市大学と雲南大学の客員教授、敦賀市のポート・セールス・アドバイザー等を務める。オリエント・オーバーシーズ・コンテナ・ラインに入社、本社および海外事務所の配送業務、物流、企画、情報ネットワークの開発、人材育成や冷凍物流などの管理職を歴任。冷凍物流と輸送技術をテーマに多くの講演を行った実績もある。近年では、大学研究者および物流専門家と共同で、より効率的なグローバル物流を推進するためGreen Society Association Limited (NPO) を設立。



都甲 潔
とこう きよし

九州大学 高等研究院 味覚・臭覚センサ研究開発センター
特別主幹教授

九州大学大学院博士後期課程修了後、助手、助教授を経て、現職。世界で初めて「味を測る」という概念を提唱し、味覚センサーを開発した功績で、文部科学大臣表彰・科学技術賞受賞。2013年紫綬褒章を受章。



中西 洋一
なかにし しょういち

九州大学大学院医学研究院 教授
臨床医学部門呼吸器内科学分野 九州大学 ARO 次世代医療センター センター長

九州大学医学部卒業後、佐賀医科大学助手、九州大学助手、同講師、同助教授を歴任。2003年九州大学大学院医学研究院教授、現職の九州大学病院臨床研究センター(現 ARO次世代医療センター)センター長に就任、2010年より九州大学主幹教授。



Iain Bitran
イアン ビトラン

国際イノベーションマネジメント協会 (ISPIM)
エグゼクティブ・ディレクター

大学でビジネス学を専攻。30年以上にわたる国際ビジネスおよび異文化交流の豊富な実績を活かし、2003年から国際イノベーションマネジメント協会(ISPIM)のエグゼクティブ・ディレクターに就任。この間、イノベーションに関する国際会議を30回以上主催している。前職では、経営者向けの意思決定ツールを開発し、中央政府や地方自治体、欧州委員会、国連など数多くのプロジェクトを担当した。現在はMICE専門家として世界中で講演活動を行うほか、国際イベントの普及拡大に情熱を注いでいる。



藤枝 守
ふじえだ まもる

九州大学大学院芸術工学研究院 コミュニケーションデザイン科学部門
(音文化・アートマネジメント) 教授

カリフォルニア大学サンディエゴ校音楽学部博士課程修了博士号(Ph.D. in Music)取得。《オーケストラの修辞学》で、第5回入野賞。第7回日本現代芸術奨励賞。国立劇場、東京混声合唱団、神奈川芸術文化財団、オーケストラ・アンサンブル金沢、ジャパン・ソサエティなどから委嘱を受ける。アメリカ大使館主催「インターリンク・フェスティバル」音楽ディレクターを務める。

アンバサダーの主な役割

●国際・国内会議や大会、展示会の誘致に係る活動 ●PR活動協力/情報提供 ●主催者キーマン・コンタクトパーソン紹介

任期

平成30年2月より2年間

主な支援内容

※支援内容は会合の規模・目的等に応じて当財団からご提案いたします。

- 1 福岡開催PRツールの製作代行・補助・配付代行・補助
- 2 Bid Paper(開催提案書)の作成代行・補助
- 3 誘致活動に係る経費の一部支援
- 4 ロビー活動等における福岡市・当財団等の同行

(50音順 敬称略)



藤原 洋
ふじはら ひろし

一般財団法人 インターネット協会理事長
IoT 推進委員会委員長

日本アイ・ピー・エム(株)、(株)日立エンジニアリング、(株)アスキーを経て、1996年12月(株)インターネット総合研究所を設立、同社代表取締役所長に就任。2012年4月(株)ブロードバンドタワー代表取締役会長兼社長CEOに就任。慶應義塾大学環境情報学部特別招聘教授、SBI大学院大学副学長を兼務。2011年4月独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)宇宙科学評議会評議員、2013年12月総務省ICT新事業創出推進会議構成員、2014年1月電波政策ビジョン懇談会構成員、2015年6月(株)インターネット協会理事長・IoT推進委員長、2016年1月総務省電波政策2020懇談会構成員に就任、現在に至る。



船山 龍二
ふなやま りゅうじ

一般社団法人 日本コンベンション協会
相談役

日本交通公社(現JT)入社後、国内旅行部長、取締役九州営業本部長、常務人事部長などを経て1996年に同社社長に就任。2002年から同社取締役会長を経て、現在は相談役。国土交通省の交通政策審議会委員、日本ツーリズム産業団体連合会会長など多数の公職も務めた。2015年4月には、コンベンション業界の事業者が集まりMICE産業の発展と活性化、国際競争力強化の推進を目的とする日本コンベンション協会の初代相談役会長に就任、現在に至る。



Petros Sofronis
ペトロス ソフロニス

九州大学カーボンニュートラル・エネルギー国際研究所 (I²CNER) 所長
米国イリノイ大学機械理工学部 教授

米国イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校理論応用力学博士課程修了後、助手、助教授、教授を経て、2010年より現職。金属材料の劣化、水素脆化、材料破壊、複合材料及び有限要素解析が専門分野。



宮本 一夫
みやもと かずお

九州大学
附属図書館長・副学長

京都大学大学院文学研究科修士課程考古学専攻修了後、九州大学人文科学研究院教授を経て、2014年九州大学副学長・附属図書館長・大学文庫館長に就任、現在に至る。日本考古学協会理事、日本中国考古学会会長を歴任。2003年に考古学の分野において顕著な業績のあった研究者や団体に与えられる「濱田青陵賞」を受賞。社会科学系の世界会議としては最大規模となる“World Social Science Forum 2018”(第4回世界社会科学フォーラム)の大会委員長を務める。



山田 淳
やまだ すなお

公益財団法人 九州先端科学技術研究所 (ISIT)
所長

日本分光学会九州支部長、日本分析化学会副会長などを歴任し、現在九州工学協会会長、日本工学アカデミー理事などを務める。有機色素、ナノ粒子、高分子分野を専門に、医学・薬学・農学などの幅広い分野に精通している。2018年3月に九州大学を退官し、4月より九州の先端科学技術をリードする研究開発拠点であるISITの所長に就任。ISITはアジア太平洋を中心とした国際産学官の協調の下で、研究開発や内外関係機関との交流・協力、コンサルティング、人材育成を通じて九州における先端科学技術等に係る産業の振興と経済社会の発展を目的にした機関であり、その所長として今後の活躍が期待される。



山本 卓明
やまもと たくあき

福岡大学医学部整形外科教室
教授

九州大学医学部を卒業、九州大学大学院医学系研究科外科系専攻課程を修了後、Hospital for Special Surgery(NY,USA)に留学、九州大学病院整形外科講師、九州大学病院リハビリテーション部准教授を経て、2016年から福岡大学医学部整形外科教授となる。専門分野は、股関節疾患(特発性大腿骨頭壊死症、臼蓋形成不全、脆弱性骨折など)・関節温存術・スポーツ外傷等。2017年、理化学研究所統合生命医科学研究センター骨関節疾患研究チームとの共同研究で、特発性大腿骨頭壊死症(ION:Idiopathic Osteo Necrosis)の発生に関連する遺伝子「LINCO1370」を発見しました。



若山 正人
わかやま まさと

九州大学 理事・副学長
マス・フォア・インダストリ研究所 教授

1997年に九州大学教授、九州大学大学院数理学研究院長・数理学府長、九州大学産業技術数理研究センター長、九州大学高等教育開発推進センター長を歴任し、2010年九州大学副学長に就任。2011年九州大学マス・フォア・インダストリ研究所(創立)所長、同時に基幹教育院院長代理に就任。2014年より現職。